

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	豊川水源林対策造林事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	南信濃自治課等名 南信濃自治振興センター				包含する細々目	1	6	2	2	28	2	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		森林法、森林、林業基本法、伊那谷地域森林計画				
		事業期間	S54	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市・民有林	市・民有林面積 (ha)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			5			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	森林保育事業を実施し、山林の保全、森林被害の防止及び森林資源の有効活用をはかる。	保育事業実施面積 (ha) (豊川水源林対策造林事業で行うもの)	18目標	5	最終目標	5
		18実績	5	19目標	5	↑
		23目標	5	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	間伐事業を促進するための事業量の拡大	民有林整備事業(間伐)5.0ha	間伐実施面積(ha)	5
	18年度の実績			
	19年度計画	民有林整備事業(間伐)5.0ha	間伐実施面積(ha)	5

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	618	618
	一般財源	432	432
事業費計(A)		1,050	1,050
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	1,050	1,050

特定財源内訳や補足事項	豊川水源林対策造林事業(補助率6/10以内)
-------------	------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	林業生産額(億円)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	経済自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
市、民有林が適正に管理され、自然環境の保全並びに森林の持つ公益的機能の増進が図られる。将来の木材生産につながる森林の公益的機能の高度発揮を図る目的で既に実施していた	木材価格の低迷のため、木材生産目的の森林整備に対する森林所有者の意欲が薄れてきた。しかしながら、森林の持つ公益的機能の高度発揮という目的が改めて見直されて来ているが森林所有者や木材産業関係者には経済的に成り立たず間伐等森林整備が進まない。	市民、議会から森林の保全管理は重要であり、また地域材を有効に利用することが必要

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 森林保全は国土保全や水源涵養、地球温暖化防止等に役立つため、市民全体に恩恵がある。また、森林機能を維持増進を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	森林所有者の理解が必要で、さらに間伐推進の啓発を図る。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	